

# 2050年カーボンニュートラルに向けた業界ビジョン(基本方針等)

## 石灰石鉱業協会

### 【ビジョン(基本方針等)の概要】

2024年7月策定

#### (将来像・目指す姿)

石灰石鉱業界でのCO<sub>2</sub>排出対象としているのは、鉱山の採掘現場で使用する大型重機・車両等の燃料(軽油)と、石灰石の破碎・選別プラント等で使用する電力で、全てエネルギー由来によるものです。

これまで石灰石鉱業界は、環境自主行動計画、低炭素社会実行計画、カーボンニュートラル行動計画に参画し、エネルギー単位の削減、BAUからのCO<sub>2</sub>削減に努めて参りましたが、更なる高みである我が国の目指す「2050年カーボンニュートラルの実現」に貢献するための諸施策を可能な限り進めて参ります。

#### (将来像・目指す姿を実現するための道筋やマイルストーン)

1. 大型重機・車両から排出されるCO<sub>2</sub>削減
  - ・業界内での省エネ活動の推進および情報の共有化
  - ・最新の省エネ(低炭素型)重機・車両(BAT)の積極的な導入および計画的な更新
  - ・電気による駆動方式への変更や水素エンジンを用いた革新的大型重機・車両の開発サポートおよび導入の推進
  - ・軽油に代わる低炭素燃料(e-fuel、バイオ燃料等)の積極的な活用推進
2. 破碎・選別プラントから排出されるCO<sub>2</sub>削減
  - ・業界内での省電力活動の推進及び情報の共有化
  - ・最新の省電力(低炭素型)設備(BAT)の積極的な導入および計画的な更新
  - ・ベルトコンベアによる回生電力の有効利用、省エネ(省電力)ベルトの導入推進
  - ・高効率の集塵機・変圧器・電動機へ更新
  - ・照明のLED化
3. 緑化によるCO<sub>2</sub>の吸収・削減
  - ・石灰石鉱山で行っている採掘跡地、鉱山残壁、鉱山集積場への緑化植栽の推進
  - ・カーボンオフセットクレジットの活用
4. 再生可能エネルギー等の活用推進
  - ・石灰石鉱山特有の広大な採掘跡地を活用した太陽光発電設備の導入推進
  - ・鉱山の高低差を利用した小水力発電設備の導入推進
  - ・風力発電設備の導入推進
  - ・脱炭素(カーボンフリー)電力、低炭素電力の活用推進